

日本神経内分泌学会 定款

施行	昭和56年 6月 5日	一部改正	平成 18年 10月 27日
一部改正	昭和59年11月 3日	〃	平成 19年 8月 4日
〃	平成 2年10月31日	〃	平成 23年 11月 25日
〃	平成 6年12月 3日	〃	平成 24年 9月 28日
〃	平成 9年11月 8日	〃	平成 26年 11月 1日
〃	平成 11年10月 29日	〃	平成 27年 9月 18日
〃	平成 14年10月 11日	〃	平成 28年 4月 21日
〃	平成 15年 9月 11日	〃	平成 28年 10月 14日
〃	平成 16年 10月 9日	〃	平成 30年 10月 27日
〃	平成 17年 7月 8日		

第1条 本会は日本神経内分泌学会（Japan Neuroendocrine Society）と称する。

第2条 本会の事務局は理事会の指定する場所におく。

（目的）

第3条 本会は神経内分泌学の進歩・向上をはかることを目的とする。

（事業）

第4条 本会は次の事業を行なう。

1. 学術集会の開催
2. 国際交流
3. 国際的研究者の育成
4. 研究業績の顕彰
5. その他、本会の目的達成に必要な事項

（会員）

第5条 本会の会員を次のように分ける。

1. 正会員
 - (1) 一般会員
 - (2) 評議員
 - (3) 学生会員
2. 功勞評議員
3. 名譽会員
4. 賛助会員

第6条 正会員は本会の目的に賛同し、所定の年会費を納入した個人で、その年度の学術講演会での講演発表の権利ならびに評議員会または総会の表決権を有する。また3年連続して会費を納入しなかった者は正会員の権利を失う。

2. 正会員が退会を希望するときは、理由を付して退会届を理事長に提出しなければならない。

第7条 功勞評議員は、第18条3項により任期を終了した評議員で、議員歴10年以上の経歴を有し本会に功勞のあった者で、理事会が推薦し、評議員会および総会の承認を得て決定する。

2. 功勞評議員は本会会費を免除され、他の権利は別途定める。

第8条 名譽会員は本会の目的に関し特に功績のあった者で、理事会が推薦し、評議員会および総会の承認を得て決定する。

2. 名譽会員は本会会費を免除され、他の権利は別途定める。

第9条 賛助会員は本会の目的に賛同し、本会の事業を支援する賛助会費を納入した個人または団体である。

2. 賛助会員の権利は別途定める。

第10条 会費は理事会で立案し、評議員会と総会の承認を得る。

（役員）

第11条 本会に次の役員を置く。

1. 理事 10名以上15名以内（うち理事長 1名）
2. 監事 2名

（役員を選任）

第12条 理事は評議員の投票または理事長の推薦により評議員会および総会の承認を得て選任する。理事長の推薦による理事は

原則3名とするが、必要に応じ若干名を追加することができる。

2. 理事は互選で理事長を定める。
3. 監事は理事長が推薦し、評議員会および総会の承認を得るものとする。

(理事の職務)

第13条 理事長は、本会を代表し会務を統轄する。

2. 理事長に事故があるとき、又は理事長が欠けたときは、あらかじめ理事長が指名した順序により、理事がその職務を代理し、又はその職務を行う。
3. 理事は理事会を組織して、この定款に定めるもののほか、本会の総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、執行する。
4. 理事は理事長の業務を補佐する。
5. 理事長は必要に応じ、本会の運営に必要な研究賞選考委員会などの諸種委員会の設置および委員の委嘱を行なうことができる。
6. 理事長又はその代理者は、日本内分泌学会理事会にオブザーバーとして出席する。

(監事の職務)

第14条 監事は本会の業務および財産を監査する。

2. 監事は理事会に出席する。

(役員任期)

第15条 理事長の任期は2年とする。連続する場合は1期に限り再任できる。

2. 理事の任期は2年とする。評議員の投票により選ばれた理事は、理事会の推薦ならびに評議員会・総会の選任決議を経て、もう1期再任される。所定の任期終了後も評議員の投票または理事長の推薦により再選された場合には重任を妨げない。
3. 監事の任期は2年とする。連続する場合は1期に限り再任できる。
4. 役員任期は学術集会時の総会の日からはじまり、それぞれ定められた任期を経た後の学術集会時の総会の日をもって終了する。
5. 役員は65歳の誕生日を迎えた後は、現在の任期を終了した後、更に再任されることはない。

(理事会)

第16条 理事会は理事長が召集する。

2. 理事会の議長は理事長とする。

第17条 理事会は理事の現在数の3分の2以上の者が出席しなければ、議事を開き議決することは出来ない。ただし、他の理事を代理人として表決を委任した者は、出席者としてみなす。

2. 理事会の決定は出席者の過半数による。可否同数の時は、理事長が決する。
3. 理事長は出席が必要と認めた者を、オブザーバーとして理事会に出席させることができる。

(評議員の選出および任期)

第18条 評議員は、評議員、功労評議員または名誉会員2名以上の推薦に基づき、理事長が理事会に諮り、評議員会の議を経て定め、学術集会時の総会の承認を得るものとする。

2. 評議員の任期は4年とし、再任を妨げない。ただし、再任は理事会において審議し、評議員会および総会の承認を得るものとする。
3. 評議員は4年の任期を満了しない場合でも、65歳の誕生日を迎えた後の学術集会時の総会の日をもって任期を終了する。

(評議員の職務)

第19条 評議員は評議員会を組織して、理事長および理事会の諮問事項、その他本会の運営に関する事項を審議する。

(評議員会)

第20条 評議員会は年1回、学術集会時の総会に先立って、理事長が召集する。但し、正当な理由がある場合は、総会と合同で開催できるものとする。

2. 評議員会の議長は、出席議員の互選により定める。

第21条 評議員会は、評議員現在数の3分の2以上の者が出席しなければ、議事を開き議決することができない。ただし、他の評議員を代理人として表決を委任した者は、出席者としてみなす。

2. 評議員会の決定は出席評議員の過半数による。可否同数のときは、議長が決する。

(総会)

第22条 総会は正会員をもって組織する。

第23条 総会は学術集会時を含めて少なくとも年1回、理事長が召集し開催する。

2. 臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、理事長が召集する。

第24条 総会の議長は出席正会員の互選により定める。

第25条 総会は理事会と評議員会における審議事項を議決する。

第26条 総会は正会員現在数の3分の1以上の者が出席しなければ、議事を開き議決することができない。ただし、他の正会員を代理人として表決を委任した者は、出席者としてみなす。

2. 総会の決定は出席正会員の過半数による。可否同数のときは、議長が決する。

(会長)

第27条 会長はその年度の学術集会に関わる任務を遂行する。

第28条 会長は理事会において推薦し、評議員会および総会の承認を得て決定する。

第29条 会長の任期は1年とし、前回学術集会の終了翌日から学術集会終了の日までとする。(学術集会)

第30条 学術集会は毎年1回開催する。またその内容は本会として特色あるものとする。

第31条 学術集会に発表する者は、会員であることを必要とする。ただし、本会の主旨に賛同する非会員で会長が承認した場合には発表を行なうことができる。

(表彰)

第32条 神経内分泌学の領域において優れた業績をあげた研究者に対し、別に定める規程に基づき、研究賞を授与する。また、基礎的研究の発展を推進するために若手研究助成金制度を設け、別に定める規程に基づき助成を行う。

2. 本会の目的の達成または事業の遂行に関し特段の功績のあった者に対し、別に定める規程に基づき、特別功労賞を授与する。

3. 学会業績が卓越しており、かつ指導的立場で学会活動に精勤している者に対し、別に定める規程に基づき、学会賞を授与する。

(国際神経内分泌連盟)

第33条 本会は International Neuroendocrine Federation (国際神経内分泌連盟) に加盟し、年会費を負担する。

(会計)

第34条 本会の運営には次の資金をあてる。

1. 会費

2. 寄付金

3. 資産から生ずる収入

4. その他の収入

2. 年度会計の報告は監事の監査を経た後、理事会、評議員会並びに総会にはかり承認を得る。

3. 会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会則の変更など)

第35条 本会則の変更および細則の作成には理事会および評議員会の議を経て総会の承認を得る。

(附則)

第36条 本会則は平成11年10月29日より施行する。